

【全体】

1. 桐が丘特別支援学校について

Q 1 : 筑波大学附属桐が丘特別支援学校の教育方針を教えてください。

当校の教育目標は、「肢体不自由及びその他の障害を併せ有する児童生徒に対して、個々の個性と障害の実態に応じた教育を行い、豊かな人間性を持ち、主体的に自立と社会参加を目指して、生涯にわたって自己の生き方を探求していく人間を育成」していくことです。

この教育目標を達成するために、次のような指導を大切にします。

- ① 一人一人の教育に必要なことを見極め、自立と社会参加に必要な力を育みます。
- ② 児童生徒が自己の生き方を探求できるよう、一人一人に必要な経験や集団の中で果たす役割を重視します。
- ③ 保護者や関係機関との対話を深め、家庭や地域での生活を充実させつつ学校での教育に生かしていきます。
- ④ 児童生徒が自己理解を深め、多様な人々と生きることを学ぶために、校外の人々と学ぶ機会を広げます。

Q 2 : 筑波大学附属桐が丘特別支援学校は、公立の特別支援学校とどこが違うのですか。

本学は、大学附属校として国内で唯一の肢体不自由児を対象とする特別支援学校です。そのため、教育活動のみならず筑波大学の教育及び研究に参画・協力する使命があり、肢体不自由教育さらには特別支援教育について教育研究を先導する役割があります。

Q 3 : 普通学級と特別学級の違いを教えてください。

個に応じた教育を行うことを基本として、2つの学級を設置しています。普通学級では、学年相応の各教科等を中心に学習しています。特別学級では、一人一人の発達段階に応じて学習内容を重点化し、基礎的・基本的内容を中心に学習します。

Q 4 : 国際教育では、どのような取り組みをしていますか？

大韓民国・セロム学校、台湾・国立南投特殊教育学校、国立和美実験学校とそれぞれ交流協定を結んでおり、代表児童生徒の交流の機会を設けています。

また、課外活動として、放課後、英語を母国語とする先生と英会話に取り組めるイングリッシュルームを設けています。外国語活動や英語の授業で学習したことを実際に

使ってみることで、英会話力の向上、言語や文化に対する興味・関心、英語でのコミュニケーション意欲を広げることを目指しています。

Q 5 : I C T教育が充実していると聞きました。家庭でパソコン、タブレットパソコンを用意したり、オンラインの接続環境を用意したりする必要がありますか。

必要です。当校では、日常の家庭学習、長期休業中の家庭学習及び、感染症や災害等により臨時休業や学校に通学できない場合に、オンラインによる学習を行います。このため、令和3年度入学生からは、オンライン学習が可能な性能を有するパソコン、タブレット及び接続環境を用意いただくことをお願いします。パソコン等のI C T活用は、肢体不自由児童生徒の学習のみならず、進学、就労等、卒業後の社会で生活していくために極めて有効なツールとなります。そのため小学部から高等部まで一貫してI C T教育の充実に努めています。

Q 6 : 医療的ケアの体制について教えてください。

非常勤看護師1名が児童生徒の医療的ケアを行っていますが、学校行事をはじめとして全ての教育活動をカバーすることはできませんので、保護者の御協力をお願いしております。

Q 7 : 住所と連絡先が二つありますが、本校と施設併設学級は何が違うのですか。

本校は、主に御家庭からの通学生を対象としています。施設併設学級は、隣接する心身障害児総合医療療育センターに手術目的などで入院している児童生徒を対象にしています。

Q 8 : 学校の様子を見学したいのですが、どうすればよいですか。

5月から10月までの毎月1回、入学希望者に対して学校見学日（オンライン学校見学を含む）を開催しています。今年度（令和2年度）は、新型コロナウイルス感染症対策のため、7月、9月、10月の3回の開催となっております。

御希望の方はこちらからお申込みください。

<https://www.kiri->

[s.tsukuba.ac.jp/%e5%ad%a6%e6%a0%a1%e6%a1%88%e5%86%85/%e5%ad%a6%e6%a0%a1%e8%a6%8b%e5%ad%a6%e6%97%a5/](https://www.kiri-tsukuba.ac.jp/%e5%ad%a6%e6%a0%a1%e6%a1%88%e5%86%85/%e5%ad%a6%e6%a0%a1%e8%a6%8b%e5%ad%a6%e6%97%a5/)